

# 防衛<sub>vol.57</sub> 北海道

## 目次

- 第38回防衛問題セミナー ..... 2
- 陸上自衛隊第1空挺団!! “北方積雪地空挺演習” ..... 3
- 冬のイベントに自衛隊が協力しています! ..... 4~5
- 防衛施設と周辺地域との調和を図るために ..... 6
- 絆(きずな)~岩見沢市と岩見沢駐屯地の紹介~ ..... 7
- 千歳基地に係る米軍航空事故等連絡会議の開催 ..... 8
- 第61回北部防衛衛生学会の開催 ..... 8
- 新ひだか町の水産物荷捌施設が完成 ..... 9
- 米海軍第7艦隊ミサイル駆逐艦「マスティン」小樽港入港 ..... 9
- 防衛省職員採用のご案内 ..... 10

## 第69回さっぽろ雪まつり



ファイナルファンタジーXIV “白銀の決戦”  
製作：陸上自衛隊 真駒内駐屯地  
第11特科隊  
第11偵察隊  
第11高射特科中隊

奈良・薬師寺 大講堂  
製作：陸上自衛隊 真駒内駐屯地  
第18普通科連隊

編集・発行



防衛省北海道防衛局広報誌等編集委員会  
札幌市中央区大通西12丁目札幌第3合同庁舎  
Tel.011-272-7579  
<http://www.mod.go.jp/rdb/Hokkaido/>

# 第38回防衛問題セミナー

## テーマ：東アジアの「今」を知る！

### ～わが国周辺諸国の情勢について～



北海道防衛局は、平成30年2月20日北広島市芸術文化ホールにおいて、『東アジアの「今」を知る！～わが国周辺諸国の情勢について～』をテーマに、防衛省防衛研究所の片原栄一特別研究官を講師にお迎えし、北広島市、北広島市自衛隊協力会の後援及び自衛隊札幌地方協力本部の協力をいただき、第38回防衛問題セミナーを開催しました。



北海道防衛局 古川局長



北広島市 上野市長



防衛研究所 片原特別研究官

講演に先立ち、古川北海道防衛局長が開会挨拶を行い、続いて後援者を代表して北広島市の上野市長からご挨拶をいただきました。

セミナーでは、片原特別研究官から「東アジアの安全保障環境等について」と題し、東アジア地域を中心とした世界情勢や北朝鮮の核・ミサイル情勢、米中関係等について、講演が行われました。



防衛白書のパネルを展示しました

今回のセミナーには、会場が満席となる約150名の方々にご来場いただき、皆様からは「東アジア情勢について、幅広く理解することができた。」「複雑な国際関係を、非常にわかりやすく説明してもらい、大変有意義な講演だった。」など多くの感想が寄せられました。

当局では、今後も道内の皆様に防衛省の政策、自衛隊の活動等について、理解を深めていただくため、各地で防衛問題セミナーを開催していく予定です。



# 陸上自衛隊第1空挺団！！

## “北方積雪地空挺演習”

平成30年1月22日、2月4日から6日及び9日に、陸上自衛隊第1空挺団（千葉県船橋市）が、北海道大演習場（千歳地区）及び鹿追然別中演習場において、積雪地における空挺降下訓練やスキー訓練等を含む「北方積雪地空挺演習」を実施しました。

北海道大演習場（千歳地区）では、延べ80名以上の隊員が航空自衛隊千歳基地からC-130輸送機（※1）とC-1輸送機（※2）に乗り込み空挺降下訓練を行いました。

鹿追然別中演習場では、計画していたCH-47ヘリコプターを使用した降下訓練は天候不良で中止となりましたが、スキー機動訓練及び陣地攻撃訓練を行い、積雪地における戦闘戦技練度を向上させました。

### 北海道大演習場（千歳地区）



陣地攻撃訓練

### 鹿追然別中演習場



スキー機動訓練



アキオ（フィンランド語（ahkio）で、トナカイが引くソリの意）と呼ばれる大型のソリに荷物を載せ、隊員達がこれを引いて、雪の中を行進するスキー機動訓練が行われました。

※1：C-130輸送機

- ・乗員 6人+92人（完全武装の空挺隊員64人搭乗可能）
- ・性能 最大離陸重量約70.3t、最大時速約590km、航続距離約4,000km（5t搭載時）

※2：C-1輸送機

- ・乗員 5人+60人（完全武装の空挺隊員42人搭乗可能）
- ・性能 最大離陸重量約45t、最大時速約800km、航続距離約1,700km（3t搭載時）

写真：第1空挺団広報室



# 冬のイベントに自衛隊が協力しています！

## 第69回 さっぽろ雪まつり 平成30年2月5日～2月12日

例年に比べて雪不足から、約25km離れた当別町、豊平峡ダムにも採雪に行きました。雪像製作は、彫る角度によって陰影が変わったり、下から見た時と正面から見た時の見え方が違うので、難しさがあります。

陸上自衛隊 真駒内駐屯地  
第18普通科連隊 (8丁目会場)      第11特科隊  
第11偵察隊 (4丁目会場)  
第11高射特科中隊



写真: 第11旅団司令部総務課広報室

## 第59回 旭川冬まつり 平成30年2月7日～2月12日

マイナス20℃にもなる河川敷で隊員一丸となって製作したギネス級の大雪像と100mの大滑り台は子供から大人まで大人気となりました。

陸上自衛隊 旭川駐屯地  
第2特科連隊 第2後方支援連隊  
第2高射特科大隊 第2施設大隊  
第2通信大隊



写真: 第2師団司令部総務課広報室

## 第54回 かみふらの雪まつり 平成30年2月4日

陸上自衛隊 上富良野駐屯地  
第2戦車連隊



写真: 上富良野駐屯地広報班

## しかりべつ湖コタン 平成30年1月27日～3月21日

陸上自衛隊 鹿追駐屯地



写真: 鹿追駐屯地広報班

## 第28回 IWAMIZAWA ドカ雪まつり 平成30年2月16日～2月18日

陸上自衛隊 岩見沢駐屯地



写真: 岩見沢駐屯地広報班

## 第55回 おびひろ氷まつり 平成30年2月2日～2月4日

滑り台脇に撮影台を設けたり、インスタ映えするように大氷雪像にLED照明を埋め込んだりと、設計から製作まで取り組みました。

陸上自衛隊 帯広駐屯地  
第4普通科連隊



写真: 第5旅団司令部総務課広報班

## 第52回 とまこまいスケートまつり 平成30年2月3日～2月4日

陸上自衛隊 南恵庭駐屯地 第73戦車連隊  
東千歳駐屯地 第7施設大隊



写真: 第7師団司令部総務課広報渉外班

## 中富良野ウィンターフェスティバル 2018 平成30年2月11日

陸上自衛隊 上富良野駐屯地  
第3地对艦ミサイル連隊



写真: 上富良野駐屯地広報班

この他にも各種イベントに協力しています！



# 防衛施設と周辺地域との調和を図るために ～騒音防止事業（一般防音）の紹介～

防衛省は、飛行場における自衛隊等の航空機の離着陸、演習場におけるひん繁な射撃や火薬類の使用等により生ずる音響で著しいものを防止し、又は軽減するため、騒音防止事業（一般防音）として、地方公共団体等が学校や病院等の施設について必要な工事を行うときに、「防衛施設周辺の生活環境の整備等に関する法律」第3条第2項に基づき、その費用の全部又は一部を補助しています。

今回は、北海道防衛局が補助した事業のうち、平成29年6月に完成した学校法人高陽学園百合が原幼稚園防音事業について紹介します。

## 学校法人高陽学園百合が原幼稚園防音事業

陸上自衛隊札幌（丘珠）飛行場では、自衛隊による回転翼機等の離着陸が実施されています。

当局は、同飛行場における回転翼機等の離着陸により生じる音響を防止又は軽減するため、学校法人高陽学園百合が原幼稚園が実施した教育環境の改善を目的とした園舎改築を含む防音工事にに対し、騒音防止事業として補助を行っています。

### 【補助事業の概要】

事業年度：平成27年度～平成29年度  
補助対象事業費：約7億2千万円  
補助額：約5億4千万円  
構造：RC造2階建  
面積：1,848㎡



建物外観



園児室内



園内広場



先生の声：園舎が防音仕様になり、外のヘリコプター音が気にならなくなりました。園児達も先生のお話などが聞こえやすいと言っております。

また、暖房設備等も新しく整備されたことにより、寒い冬でも暖かい園舎で快適に活動することができます。



# 絆

(きずな)

## ～岩見沢市と 岩見沢駐屯地の紹介～



〒068-8686  
北海道岩見沢市鳩が丘1丁目1-1  
代表電話0126-23-4111



岩見沢市



松野 哲 市長

### ■市長あいさつ

岩見沢市は北海道の中西部に位置し、自然環境に恵まれた道内有数の穀倉地帯であるとともに、空知地方における行政・産業・経済・教育文化などの中心都市です。

春から秋には、のどかな田園風景や道内最大級のバラ園である「いわみざわ公園バラ園」の眺めや、近年注目を集めているワイナリー探訪のほか、遊園地「北海道グリーンランド」などを楽しむことができます。秋には、世界一大きな臼で餅をつきあげる豪快な「いわみざわ百餅祭り」があり、冬には「IWAMIZAWAドカ雪まつり」が開催されます。

また現在、岩見沢市の魅力を高めるため、温泉・サウナを備えた宿泊施設であるメープルロッジを拠点に、自然や歴史、ワインや農業体験など岩見沢市の持つ資源を活用した体験型・滞在型の観光展開を推し進めています。

平成28年6月には、全国の自治体で初めて「健康経営都市宣言」の認定を受けました。人口減少問題を克服するため、福祉・医療の充実はもとより、健全で持続可能な行財政運営のもと、農と食を活かした新たな健康ビジネスと雇用の創出、地域課題の解決に向けた岩見沢独自の取り組みなど、まちの健康づくりを合わせて行うことで、市民満足度を高めていく取り組みを進めています。



いわみざわ公園バラ園



いわみざわ百餅祭り



IWAMIZAWAドカ雪まつり



メープルロッジ

### ■岩見沢駐屯地との関わり

岩見沢駐屯地とは、平成19年12月に「防災関係機関相互間における災害情報等の共有化に関する覚書」を、平成26年12月には「災害時等における連携に関する協定」を締結するなど、平素から情報の共有化を図り、大雨・大雪などの災害発生時には適切かつ迅速なご対応をいただいております。



大雪による災害派遣

さらには、市民参加による防災訓練に毎年ご協力をいただいているほか、いわみざわ百餅祭りやIWAMIZAWAドカ雪祭りといったイベント等にも多大なるご支援をいただいております。市民の皆様への駐屯地に寄せる信頼は大変厚いものとなっています。

岩見沢駐屯地は、昭和28年2月に石川県金沢市で編成された第532施設大隊が移駐し、当地に開設されました。その後、昭和29年に第532施設大隊から第102施設大隊、昭和51年には第12施設群へと、数度の部隊新編や機能別改編を経て、現在は第12施設群を基幹とした7個部隊が駐屯しています。

当駐屯地の担当地域は岩見沢市及び三笠市であり、災害発生時には行政と緊密に連携して、迅速に部隊を派遣する等、市民の「安心・安全」に尽力しております。また、地域内の様々な行事・イベント等にも積極的に協力して自衛隊を身近に感じていただけるよう、日夜努力を重ねております。

当駐屯地は、駐屯地司令（梅木 1 佐）のもと「信頼される地域社会の一員たれ」を胸に、地域の皆様に信頼される駐屯地を目指して日々取り組んでおります。



いわみざわ百餅祭りで櫓の組立に協力

## 千歳基地に係る米軍航空事故等連絡会議の開催

平成30年2月19日、北海道防衛局において、第10回目の「千歳基地に係る米軍航空事故等連絡会議」が開催されました。

本連絡会議は、千歳基地及びその周辺において米軍による航空事故等が発生した場合の対処に万全を期すため、関係機関相互の緊密かつ迅速な連絡体制の整備等について連絡協議することを目的として、関係22機関により平成19年1月に設立されたものです。

当日は、北海道及び千歳市、苫小牧市など千歳基地周辺の地方公共団体、北海道警察本部、関係消防本部、第一管区海上保安本部など約20機関から25名が参加し、米軍航空事故等における各機関の緊急連絡体制及び初動対応手順について、調整が行われました。

その後、北海道警察本部のご協力をいただき、地域部地域企画課の担当者から、万が一航空事故が発生した場合の対応として、「日米ガイドラインによる警察措置」と題した講話が行われました。

当局では、この会議を機に関係機関が改めて航空事故が発生した場合における対応や相互の連携について理解が深まり、また、認識を新たにすることができたと考えており、今後とも本連絡会議を定期的で開催し、関係機関相互の緊密かつ迅速な連絡体制の維持に努めてまいります。



連絡会議開催状況

## 第61回北部防衛衛生学会の開催

平成30年2月15日に、第61回北部防衛衛生学会が札幌市内の北海道青少年会館において開催され、北海道防衛局からは、古川局長をはじめ事態対処業務を所掌する職員が出席しました。

本学会は、「北部方面隊の衛生運用を考える一事態対処一」を学会テーマとして、はじめに学会長を務める<sup>うわべ</sup>上部自衛隊札幌病院長から「自衛隊札幌病院の建替え・移駐後の歩み」と題し、移駐後の成果及び北部方面隊の任務完遂に貢献できるのかとの問題認識に立った各種取組が報告されました。

続いて、岩田元陸上幕僚長ほか外部有識者による講演等や陸上幕僚監部や北部方面隊の衛生関係の実務者から、自衛隊の第一線救護における的確な救命を目的とした「陸自救命ドクトリン」に関する施策の現状や課題等の報告があり、引き続きパネルディスカッション形式で「陸自救命ドクトリン」の具現化について活発な議論が交わされました。



自衛隊札幌病院 上部病院長



衛生関係実務者によるパネルディスカッション

当局としては、今後もこのようなシンポジウムに積極的に参加し、当局の事態対処業務に役立てていきたいと考えています。



# にさばき 新ひだか町の水産物荷捌施設が完成

## 静内対空射撃場周辺漁業用施設の設置事業

新ひだか町の春立漁港にこのほど、北海道防衛局の補助事業で整備された「水産物荷捌施設」のが完成し、平成30年1月30日、同施設内で竣工式が行われました。

本施設は、同町内に所在する静内対空射撃場のために設定される漁業制限水域が、ひだか漁業協同組合に所属する組合員の漁業経営に影響を与えていることから、当局が同射場の円滑な運用と周辺地域の漁業経営の安定化を図るため、「防衛施設周辺の生活環境の整備等に関する法律」第8条に基づき、民生安定事業の漁業用施設として補助しました。

今後は、水揚げされる鮮魚を衛生的に管理することで、より新鮮な水産物を流通させることができ、漁業経営の安定に寄与することが期待されます。



### 【補助事業の概要】

- 補助対象事業費：約3億4千万円（補助率：2/3）
- 補助額：約2億3千万円
- 規模等：RC造一部2階建
- 面積：1,094㎡

外観



施設内で計量やセリを実施



出荷している水産物（ブリ）

## 米海軍第7艦隊ミサイル駆逐艦「マスティン」小樽港入港

米海軍第7艦隊（神奈川県横須賀基地）所属のミサイル駆逐艦「マスティン（約9,600トン）」が平成30年2月2日、小樽港中央ふ頭4号岸壁に入港しました。

同艦は、昨年7月に引き続いて、日米間の友好と親善を目的に寄港したもので、入港後は地元関係者による歓迎式典が行われ、艦長のウォレン・D・スミス中佐の挨拶の後、同艦の装備等の見学が行われました。

同艦は平成30年2月7日まで同港に停泊し、その間、乗組員たちは、小樽市の冬のイベント「小樽雪あかりの路」の開催が予定されている小樽運河の清掃ボランティアへ参加するなど、冬の北海道の寒さを体験しつつも、市民と心温まる交流を深めました。



ミサイル駆逐艦「マスティン」



地元関係者との歓迎式典



主要装備を説明するスミス艦長

(写真:在札幌米国総領事館)

Twitter: @USConsSapporo

Facebook: @USConGenSapporo



# 防衛省職員採用のご案内

北海道防衛局職員（事務職、技術職）は、人事院が実施する国家公務員採用一般職試験（大卒程度試験）の最終合格者から採用しています。

また、このほかに防衛省は独自に防衛省専門職員採用試験を実施し、防衛省職員（語学職）を採用しています。

## 平成30年度国家公務員採用一般職試験（大卒程度試験）

【申込受付期間（インターネットによる申込受付）】

平成30年4月6日(金)～4月18日(水) [受信有効]

※ 詳しくは、人事院ホームページ「国家公務員試験採用情報 NAVI」を御覧ください。

【試験の日程】

第1次試験日	平成30年6月17日(日)
第1次試験合格者発表日	平成30年7月11日(水)
第2次試験日(人物)	平成30年7月18日(水)～8月3日(金)
最終合格発表日	平成30年8月21日(火)

## 平成30年度防衛省専門職員採用試験

【申込受付期間（郵送による申込受付）】

平成30年4月2日(月)～4月20日(金) [消印有効]

※ 詳しくは、防衛省ホームページ「採用情報」を御覧ください。

【試験の日程】

第1次試験日	平成30年6月10日(日)
第1次試験合格者発表日	平成30年7月4日(水) 午前9時
第2次試験日	平成30年7月11日(水)～7月18日(水)
最終合格発表日	平成30年8月7日(火) 午前9時

防衛省ホームページ  
「採用情報」



人事院ホームページ  
「国家公務員試験採用情報 NAVI」

